

阿波座南公園ビオトープを通じた環境教育・体験活動

活動を行う団体

明治連合振興町会・明治地域活動協議会
大阪市建設局大阪城公園事務所、大阪市立明治小学校、
明治小校下子ども会、地域団体、専門家等と連携



ビオトープ池の様子

活動の実施場所

阿波座南公園及び近郊の緑地・河川等（大阪市西区）

活動の概要

阿波座南公園は大阪市の中心部・西区にあります。2003年度に、行政、地域団体、学校等が協力して公園内に水辺、草地、樹林のビオトープを設置し、以後、“みんなで知恵合わせ”をテーマにさまざまな主体が協働して活用や維持管理を進めています。

学習の場としては、隣接する大阪市立明治小学校が専門家とともに、理科の「四季の自然」学習や「ビオトープクラブ」（クラブ活動）などで継続的に活用してきました。



4年理科「四季の自然」学習風景
（親子でグリーンフェスタと同日の参観学習）



阿波座南ビオトープのミニビオトープを
校内に設置して観察活動

教育活用だけでなくビオトープを生かしたコミュニティも形成されています。2011年からは、異世代交流の場として幼児から高齢者が交流する「親子でグリーンフェスタイン明治」を開催しており、イベント当日には多くの笑顔があふれ、にぎわっています。

2015年には子ども会が「あわざまみこうえんビオトープからまなぶ・とびだす」をテーマに「しぜんじゅく・あわざ」を結成し、登録した児童・保護者と阿波座南公園や近郊の緑地・河川等で自然体験活動を展開しています。



かいぼりは卒業生、PTA、地域の専門学校生が活躍

また、外来種駆除など池の生物多様性のために取り組んできた「かいぼり」（池の浚渫、池干し）も数年間隔で実施する体制が整ってきました。

このようなビオトープを通じた活動を支えることで、地域の組織や学校、行政、NPO、専門家の参画連携＝“知恵あわせ”が進んでいます。